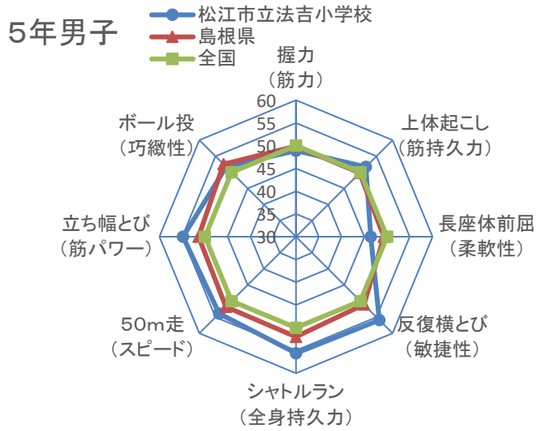
【資料1】

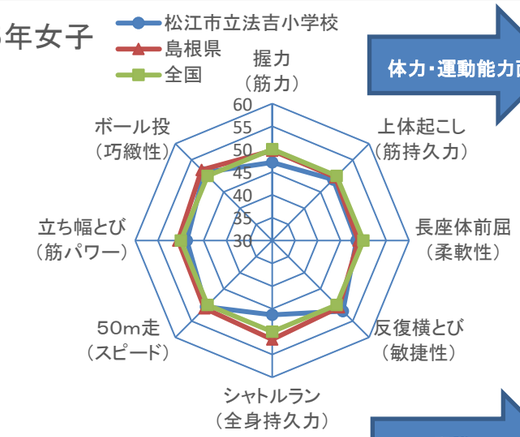
令和5年度　体力・運動能力調査結果及び分析・対策

令和6年3月29日

松江市立法吉小学校

（1）令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果（全国平均を50としたときの比較）

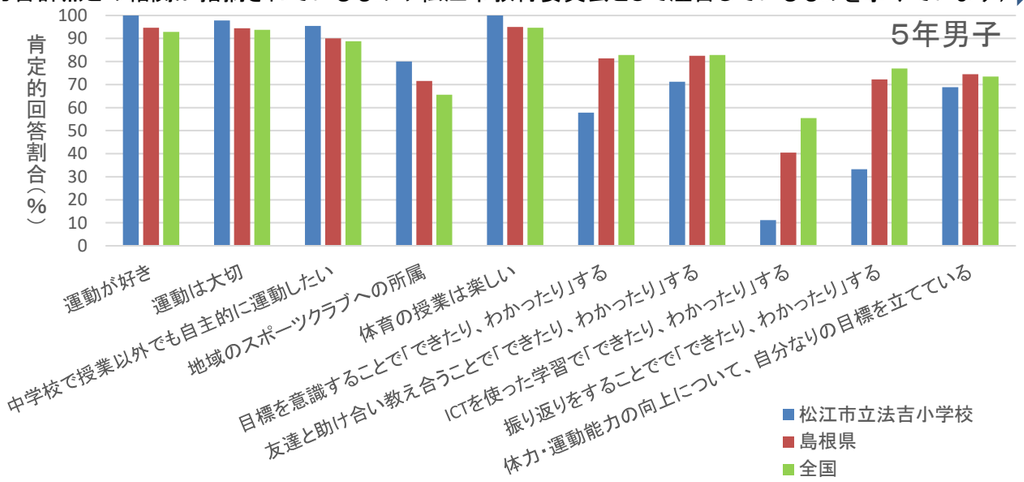


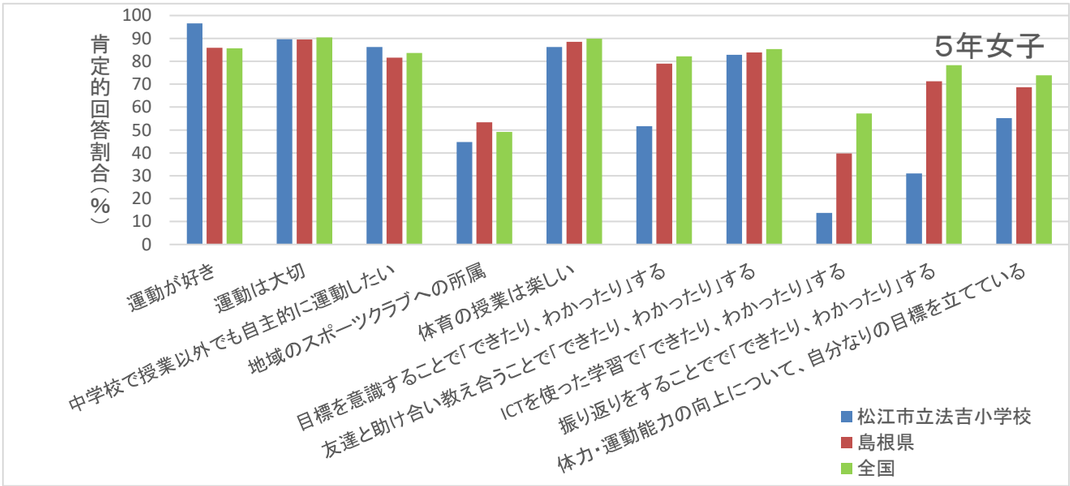


体力・運動能力面

意識

全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
（体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています）





（2）調査結果の分析

①体力・運動能力面　全国（偏差値）との比較

	握力（筋力）	上体起こし（筋持久力）	長座体前屈（柔軟性）	反復横とび（敏捷性）	シャトルラン（全身持久力）	50m走（スピード）	立ち幅とび（筋パワー）	ボール投（巧緻性）
男子	−1.1	1.7	−3.6	5.9	5.6	3.9	4.8	1.7
女子	−2.9	−1.1	−1.5	1.9	−3.7	0.5	−1.3	1.1

【−5p以上】【−5〜−2p】【−2〜0p】【0〜2p】【2〜5p】【5p以上】
弱み ← → 強み

②意識面　全国（割合%）との比較

	運動が好き	運動は大切	中学校で授業以外でも自主的に運動したい	地域のスポーツクラブへの所属	体育の授業は楽しい	目標を意識することで「できたり、わかったり」する	友達と助け合い教え合うことで「できたり、わかったり」する	ICTを使った学習で「できたり、わかったり」する
男子	7.1	4.0	6.7	14.4	5.3	−25.0	−11.6	−44.4
女子	10.9	−0.7	2.6	−4.4	−3.7	−30.5	−2.5	−43.4

	振り返りをすることでで「できたり、わかったり」する	体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている
男子	−43.7	−4.6
女子	−47.3	−18.7

【−7%以上】【−7〜−3%】【−3〜0%】【0〜3%】【3〜7%】【7%以上】
弱み ← → 強み

（3）令和6年度の方針【学校全体での取組】

（1）年間を通した取組
・学年間でどのような取組を行っているのか情報交換を行う機会を適宜設ける。
・柔軟性や投力が向上するような動きを具体的に紹介し、全校で準備運動などで取り入れる。
・逆上がり達成率が県平均を上回るよう、低学年から鉄棒に触れる機会を増やし、自分の体を支持する力やバランス感覚が養えるようにする。
・持久力の向上のため、マラソンカードに継続して取り組む。

（2）授業の工夫・改善
・校外研修で学んだことを、校内研修会などを行い積極的に伝える。
・「めあて」の提示や「自分に合った目標」を立てることを体育授業の共通ルールとし、子どもたちが目標を意識して体育の授業に取り組むことができるようにする。
・ICT機器を活用し、子どもたちが自分や友達の姿を見ながら、話し合ったり確認したりする活動を取り入れる。
・学年間でどのような取組を行っているのか情報交換を行う機会を設ける。また、それをもとにできるだけ同じ時期に同じ領域の指導ができるように、年間指導計画を見直し、作成する。

（3）室校活動
・チャレンジカード等に児童が継続して取り組めるような工夫を取り入れる。
・隙間時間にできるような運動を紹介し、取り組めるようにする。